

## 令和4年度 第5回教育研究審議会議事概要

日時 令和4年6月8日(水) 午後4時～午後4時40分  
場所 本部棟3階 大会議室  
出席者 藤田英典学長、加藤敦子副学長(兼)語学教育センター長、田中昌弥副学長(兼)キャリア支援センター長、田中正樹事務局長、小林重雄理事、春日由香学長補佐、佐藤明浩学長補佐(兼)図書館長、加藤めぐみ学長補佐(兼)保健センター長、竹島達也研究科委員長、日向良和情報センター長(兼)共通教育センター長、新井仁入学センター長、廣田健教職支援センター長、北垣憲仁地域交流研究センター長、茂木秀昭国際交流センター長、野中潤国文学科長、三浦幸子英文学科長、佐藤裕比較文化学科長、原和久国際教育学科長、鳥原正敏学校教育学科長、高橋洋地域社会学科長、横瀬晴紀総務課長、小澤初美経営企画課長、久保田昌宏学生課長

1 開 会 藤田学長より挨拶

2 議 事

(1) 都留文科大学の学部・学科改編の方向性(案)について

○委員から資料1に基づき説明。→提案どおり承認。

(2) 専任教員の募集について(地域社会学科・国際経済論)

○委員Aから資料2に基づき説明。

(委員B)

内容的に外国人も応募する可能性があるが、「日本語で業務を行うことができる方」という文言も5. 応募資格に入れたほうが良いのでは。

(委員A)

そのようにしたい。

(委員C)

応募が多数にのぼると思うが、専門の地域を指定しないのか。また、フィールドワークとあるがフィールドワークの調査経験がある方を求めているのか。

(委員A)

専門の地域は指定しない。また、応募は准教授または講師としているから少しは絞れるもの。さらに、フィールドワークについては、記載のとおり授業経験のある方が望ましい。

→指摘事項を修正した上で、提案どおり承認。

(3) 教員選考委員会の設置について(国文学科、英文学科)

○国文学科の教員採用について教員選考委員会を組織する。

◇国文学科 古典文学(上代)(専任)

○英文学科の教員採用について教員選考委員会を組織する。

◇英文学科 英語学、応用言語学(専任)

(4) 2022年夏期 ドイツ語学研修について

○委員から資料4に基づき説明。→提案どおり承認。

- (5) 令和5年度開講科目について（日本語教員養成課程・比較文化学科・社会学科  
・地域社会学科）

○委員から資料5に基づき説明。→提案どおり承認。

### 3 報 告

- (1) 新型コロナウイルス感染症等対策本部からの報告

○委員Aから資料6-1から6-3に基づき説明。

(委員B)

ゼミ合宿はどうなるか。

(委員A)

ゼミ合宿は課外活動ではなく、新型コロナウイルス感染防止対策ガイドラインを遵守していただき、教務的な判断となる。

(委員C)

教務部門で議論することになるが、保健センターが確認した確認書を添付していただきたい。

- (2) 持続可能な地域づくりの推進による富士急行沿線地域の活性化を目的とする本学、都留市、富士急行(株)の三者連携協定の締結について

○委員Aから資料7に基づき説明。

(委員B)

富士急行株式会社に都留文科大学前駅の英語を TSURU University と発音するようお願いしたい。

### 4 その他

### 5 閉 会

以 上